2022年度　第１四半期決算

イオン株式会社

2022年7月6日

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

連結業績

・営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに
過去最高を更新

（億円）

	当期実績	前期比・差※	収益認識基準適用影響
営業収益	22,032	102.3%	-444
営業利益	438	+47	-3
経常利益	443	+40	-10
親会社株主に帰属する四半期純利益	193	+143	

※旧収益認識基準の前期実績との対比

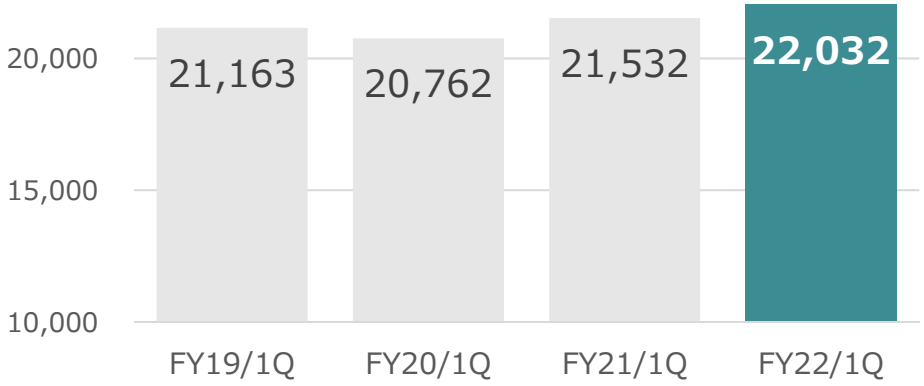
Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

連結業績

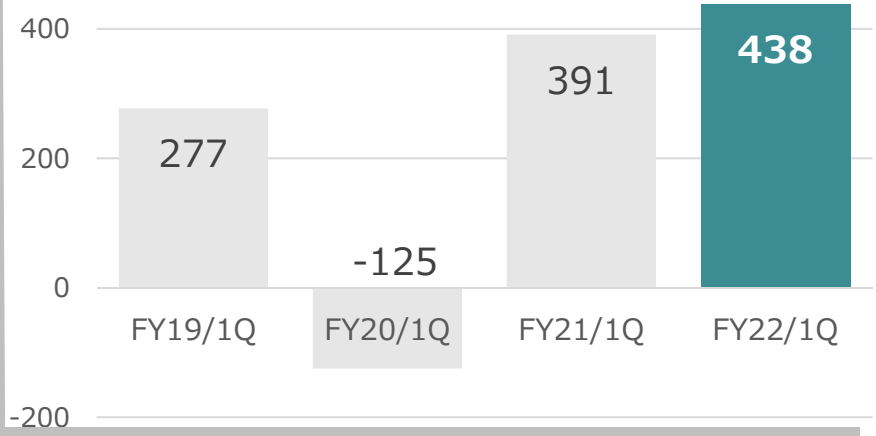
・営業収益並びにすべての段階利益がコロナ前水準を超過し過去最高
・水道光熱費の上昇を売上回復と生産性向上の取り組みで吸収し営業増益
・ミニストップ韓国の売却益影響を除いても四半期純利益は増益

（億円）

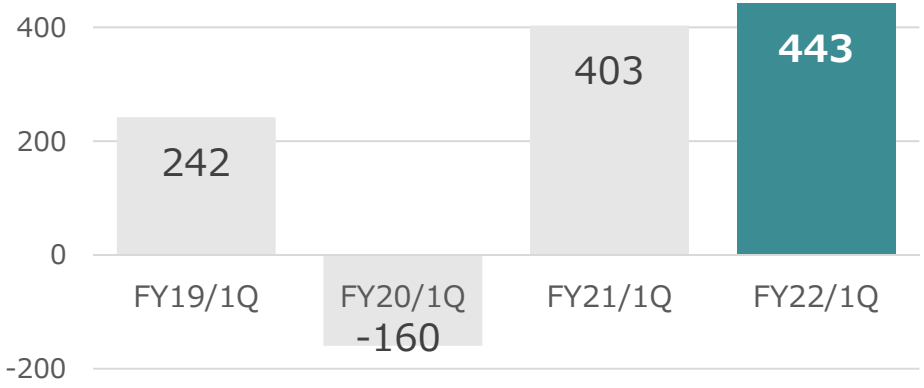
【営業収益】



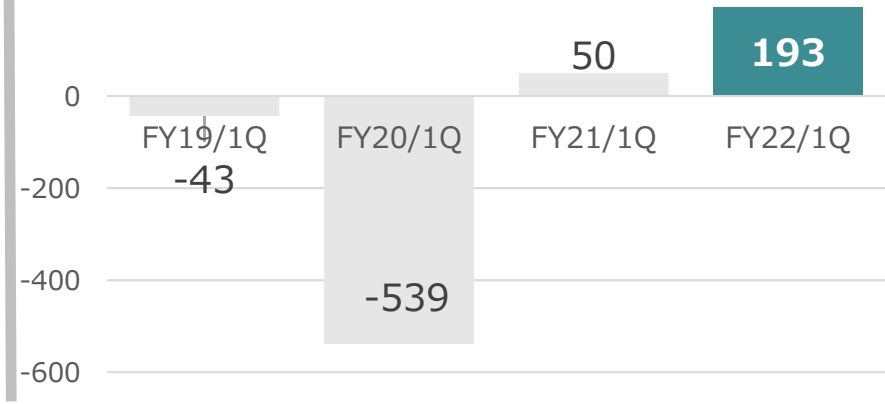
【営業利益】



【経常利益】



【四半期純利益】



Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別業績

GMS：73億円の損益改善。1QのGMS黒字は2013年度以来
総合金融：期初想定対比では順調な滑り出し

【セグメント別業績】

（億円）

	営業収益	前期比 ※	営業利益	前期差 ※
連結合計	22,032	102.3%	438	+47
GMS	7,890	98.0%	1	**+73**
サービス・専門店	1,864	109.4%	28	+40
ディベロッパー	1,076	121.5%	130	+22
国際	1,214	110.3%	28	+7
ヘルス＆ウエルネス	2,690	107.6%	74	+4
DS	954	97.8%	0	-3
SM	6,434	102.8%	33	-19
総合金融	1,084	88.0%	156	-63

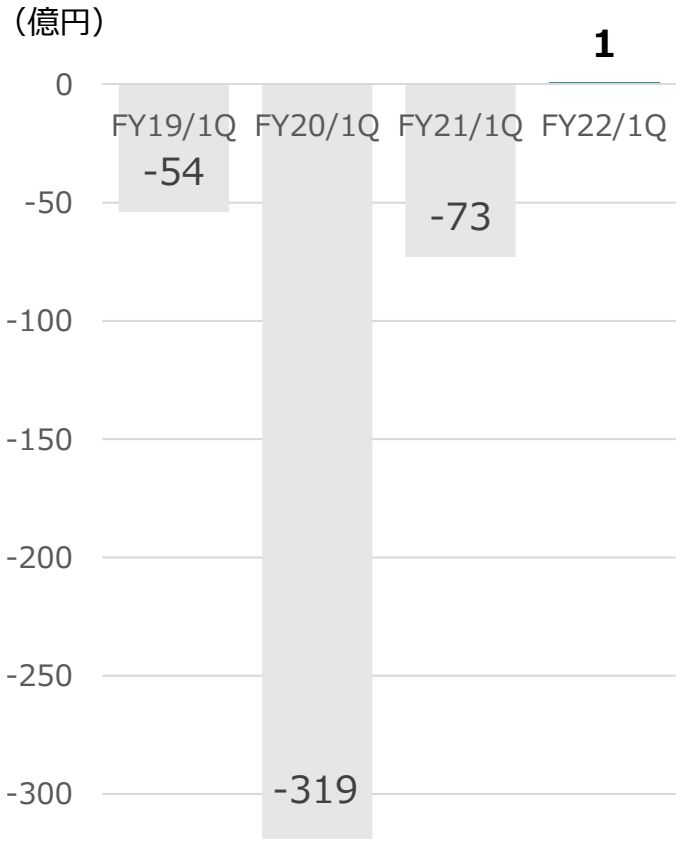
※旧収益認識基準の前期実績との対比

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

GMS事業

・GMS事業の中核企業であるイオンリテールも2013年度以来の1Q黒字化
・**過去２年間の構造改革の成果が、逆風下における大幅増益、黒字化につながる**

【セグメント利益※】



イオンリテール　リバイバルプラン

2020、2021年度の構造改革
・「在庫削減」「在庫回転率向上」
・「固定費の圧縮と変動化」

・コロナによる営業機会の縮小
・商品原価、エネルギー、人件費上昇

2022年度
収益構造が変化し、コスト上昇を吸収

	2019.1Q	2020.1Q	2021.1Q	2022.1Q
商品在庫高	1,722億円	1,432億円	1,241億円	**1,085億円**
在庫回転日数 2019.1Q差	–	-2.2日	-9.7日	**-11.3日**
人件費※※	641億円	625億円	631億円	**617億円**

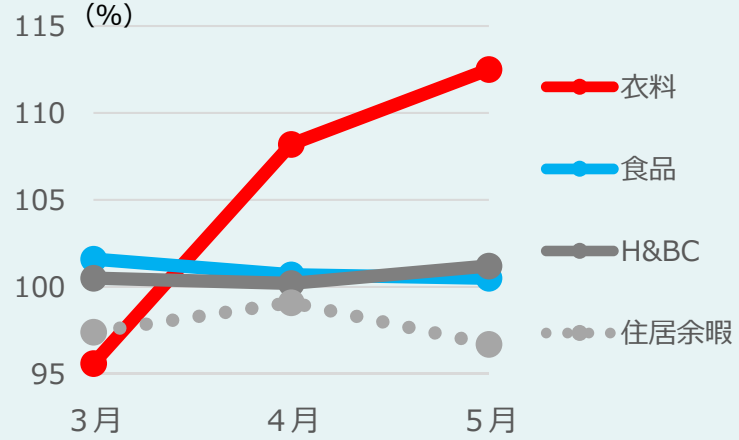
※過年度実績はセグメント移動会社を調整
※※東北事業、商品調達事業、業績賞与除く

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

GMS事業

売上：　堅調な食品売上に衣料の回復が重なり増収。売場の変革が成果へ
荒利益：衣料の売上改善・在庫回転率の向上や売変削減により改善
経費：　水道光熱費の上昇を生産性改善諸施策により吸収し削減。計画内運用

イオンリテール　前期差※　(億円)

営業総利益	+49	既存店売上高前期比（月次）  売上総利益率　前期差　+0.6 pt.
販管費	-20	水道光熱費　前期差　+18 億円 人件費　前期差　-23 億円
営業利益	+69	

1Q好調部門
衣料
・エシーム　（カジュアル強化）
食品
・デリカ　（成長カテゴリー）
・グロサリー　（トップバリュ拡販）
H&BC
・調剤　（処方箋枚数増）
・ペット用品、アジアンコスメ
（成長カテゴリー）

ネットスーパー
売上前期比※※　**116%**

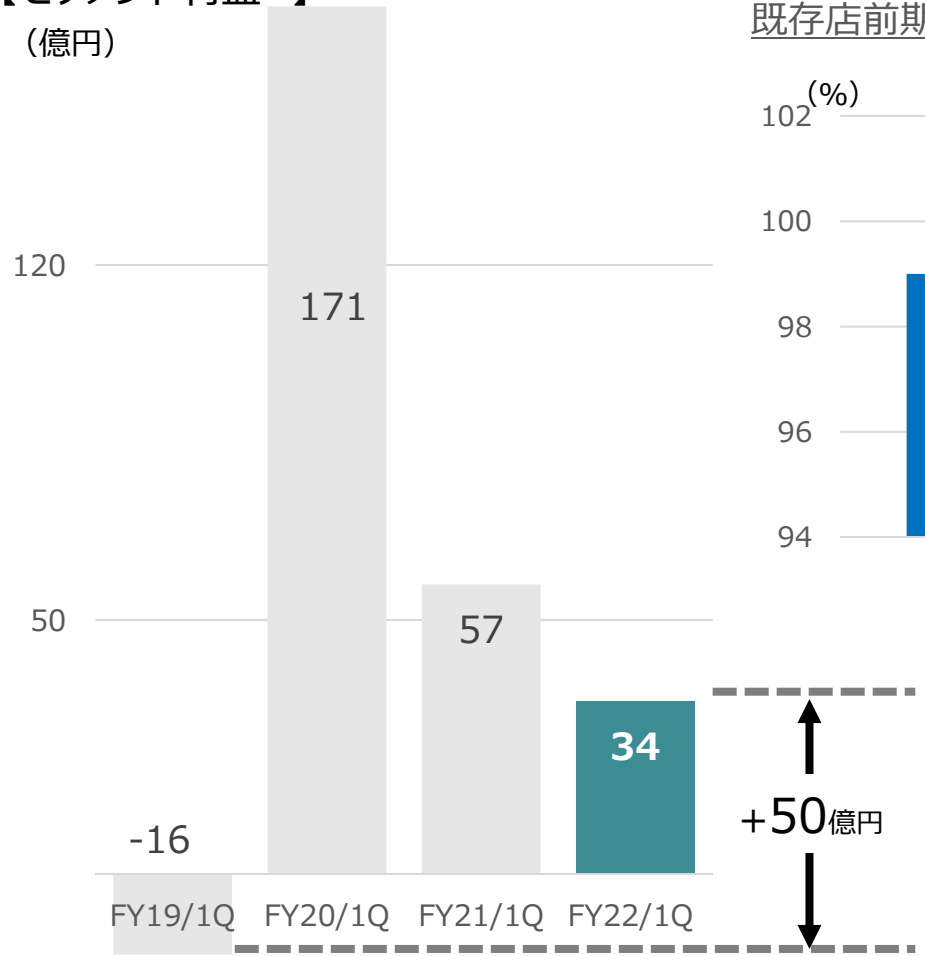
※東北事業、商品供給を除く。前年実績を新収益認識基準に置き換え
※※イオンリテール、イオンリテールストア合算

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

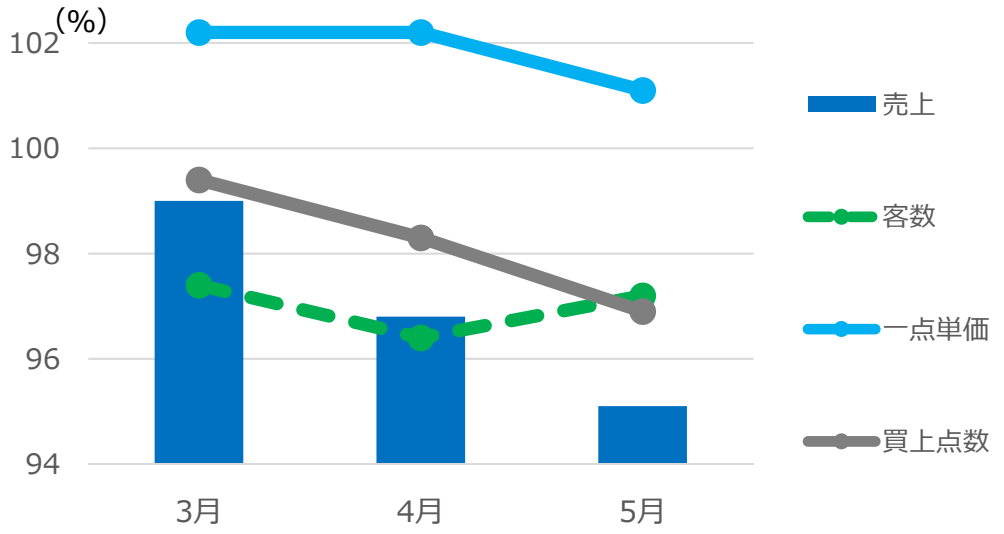
SM事業/DS事業

・巣ごもり需要の落ち着きと節約志向が売上に影響
・コロナ前対比では50億円の損益改善。売上増と経費率改善が貢献

【セグメント利益※】



既存店前期比※※



+31 億円　既存事業

営業収益※※　103.8 %

販管費率※※　-0.6pt.

+19 億円　フジ連結効果

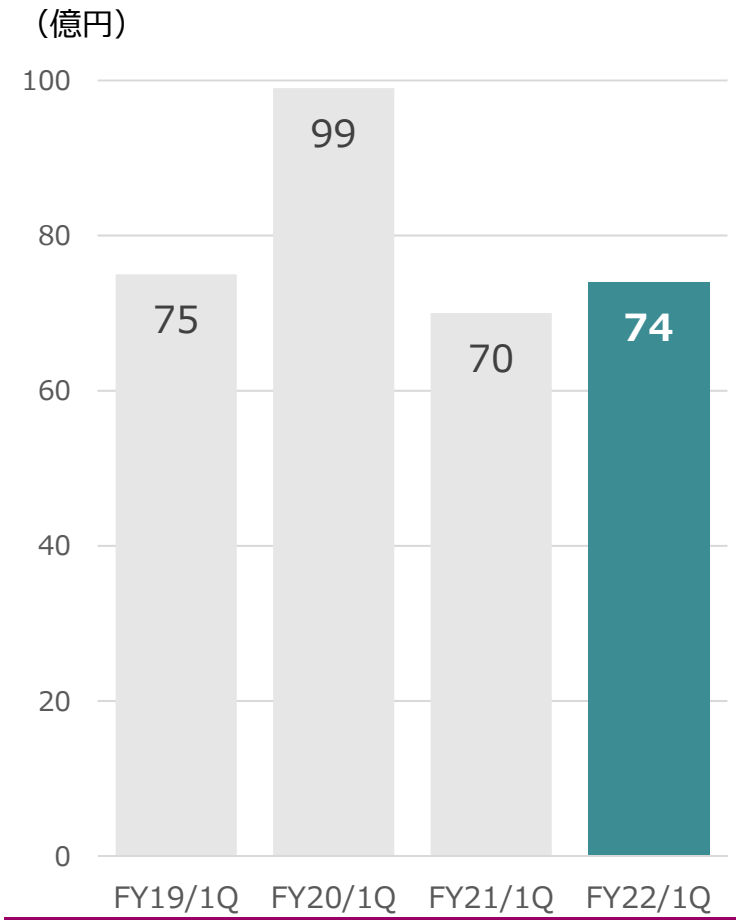
※2019、2020年度実績は会社のセグメント移動を調整。2021、2022年度実績はSM事業とDS事業の単純合算
※※主要会社計

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

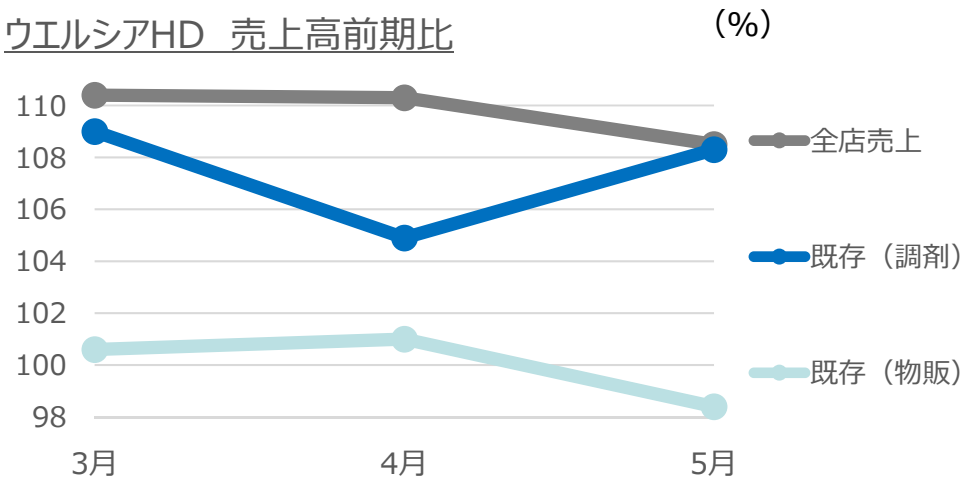
ヘルス＆ウエルネス事業

・調剤、医薬品、化粧品の売上が伸長
・調剤併設化、新規出店等の成長戦略を推進

【セグメント利益】



ウエルシアHD　売上高前期比



ウエルシアHD

売上前期比

化粧品 111.2%　調剤 110.2%　医薬品 109.8%

成長戦略

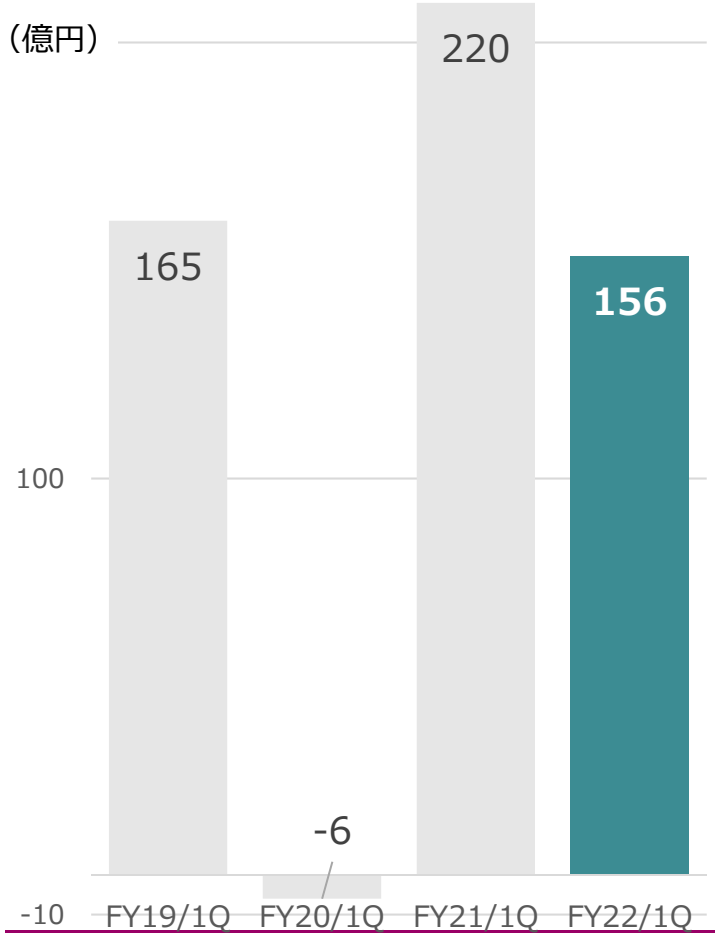
・調剤併設店舗（国内）1,859店（併設率　76.0%）
・新規出店（国内）　40店（計画差　+3店）

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

総合金融事業

海外：取扱高、債権残高ともに伸長、デジタル化の取り組み等で生産性改善
日本：人流の活発化によりショッピング取扱高が伸長。キャッシング債権残高が底打ち
　　債権流動化益の期ずれ影響等により減益も、計画織り込み済み

【セグメント利益】



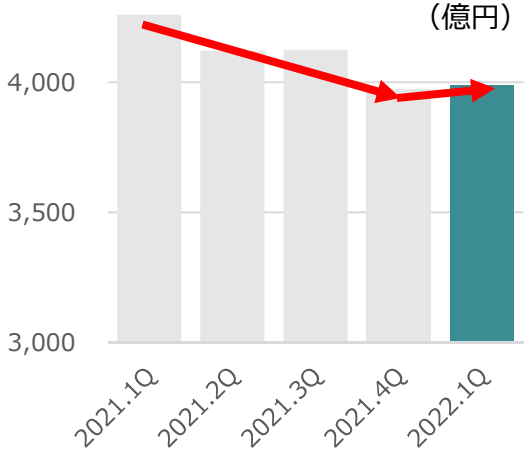
イオンフィナンシャルサービス　（億円）

	営業利益	前期差	
国際	128	+8	・取扱高、債権残高の伸長 ・デジタル化、営業債権の良質化
国内	27	-63	・ショッピング取扱高伸長 ・債権流動化益減 ・販促強化、IT投資強化
計	152	-54	・計画織り込み済み

カードショッピング取扱高（国内）　（%）

伸長部門	前期比（2019.1Q対比）
旅行	216　（ 55）
レジャー・エンタメ	208　（111）
交通	145　（ 71）
全加盟店	110　（113）

キャッシング債権残高（国内）※



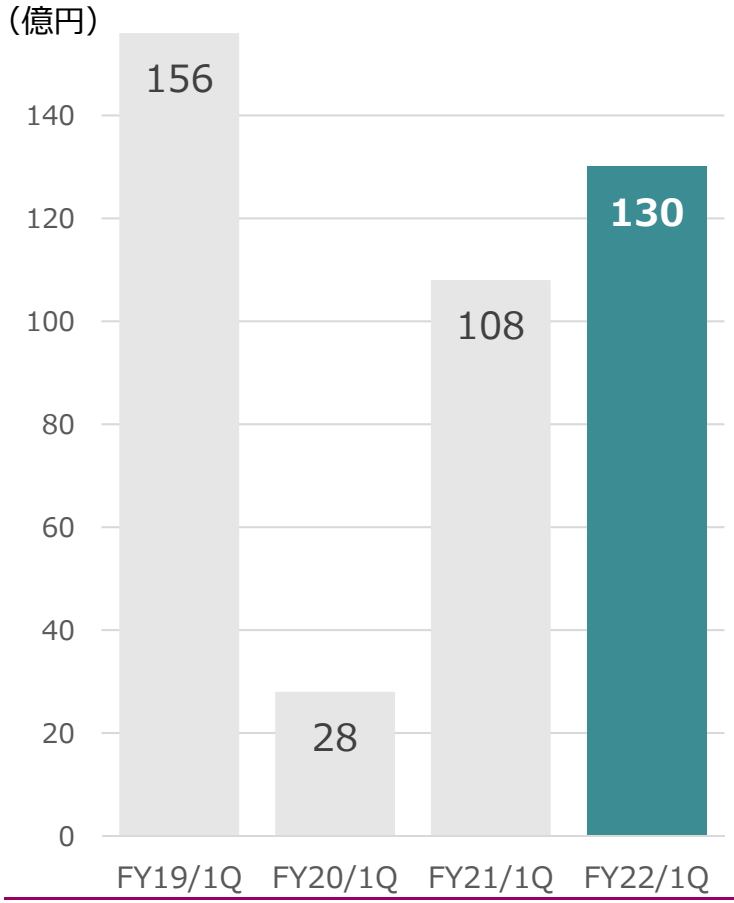
※債権流動化前

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

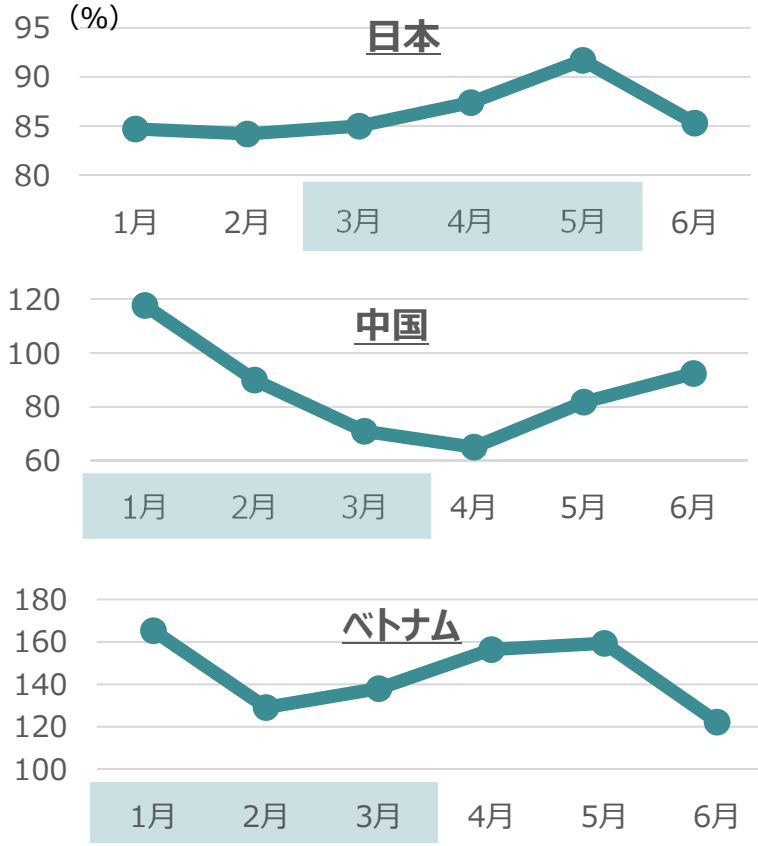
ディベロッパー事業

日本：売上トレンドは回復基調。第2四半期以降、コロナ前水準を見込む
中国：1月以降コロナ感染拡大の影響を受けるが、4月で底を打ち反転
ベトナム：政府方針が経済成長優先に転じ、コロナ前対比で二桁成長が続く

【セグメント利益】



イオンモール　既存モール専門店売上2019年度比



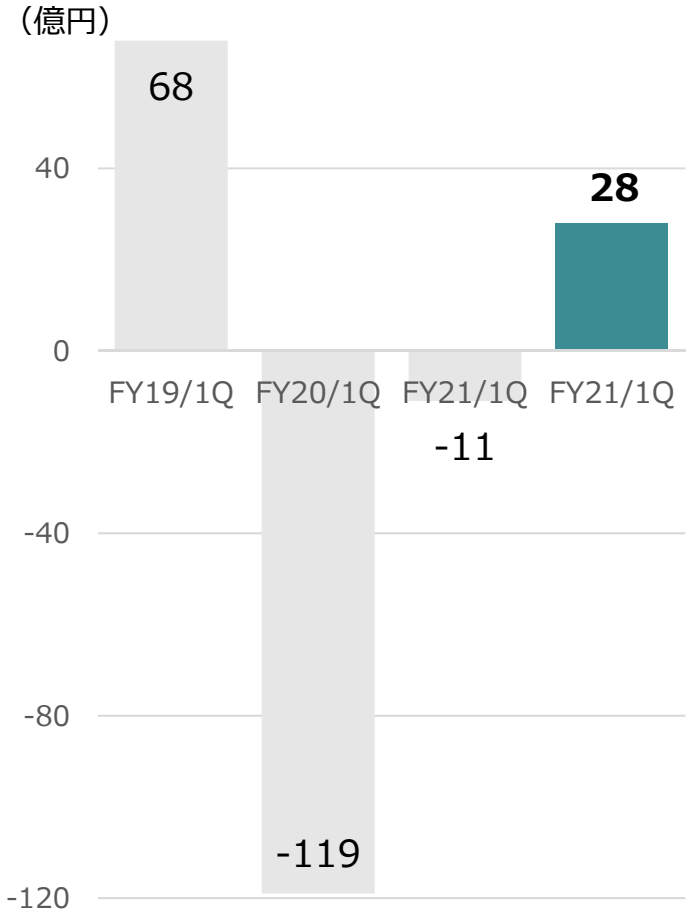
2019.1Q比
88.0%
94.4%
145.2%

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

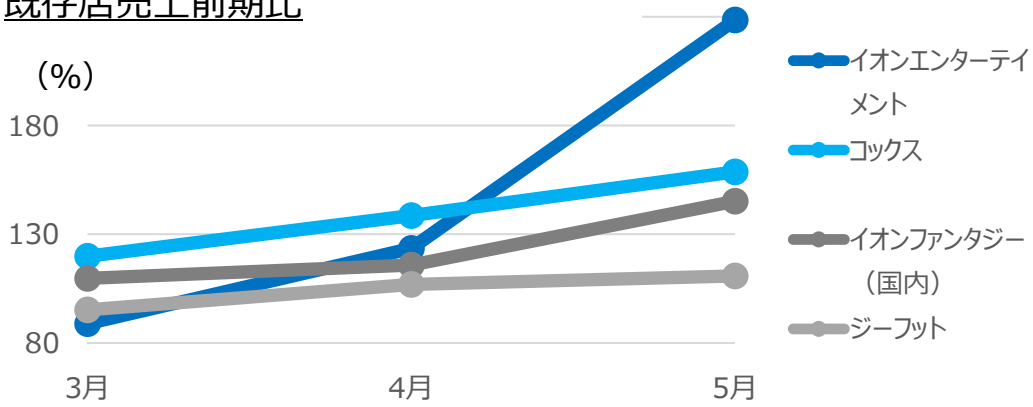
サービス・専門店事業

・売上回復により黒字転換
・イオンシネマは観客動員数の増加により大きく損益改善

【セグメント利益】



既存店売上前期比



イオンエンターテイメント（イオンシネマ）

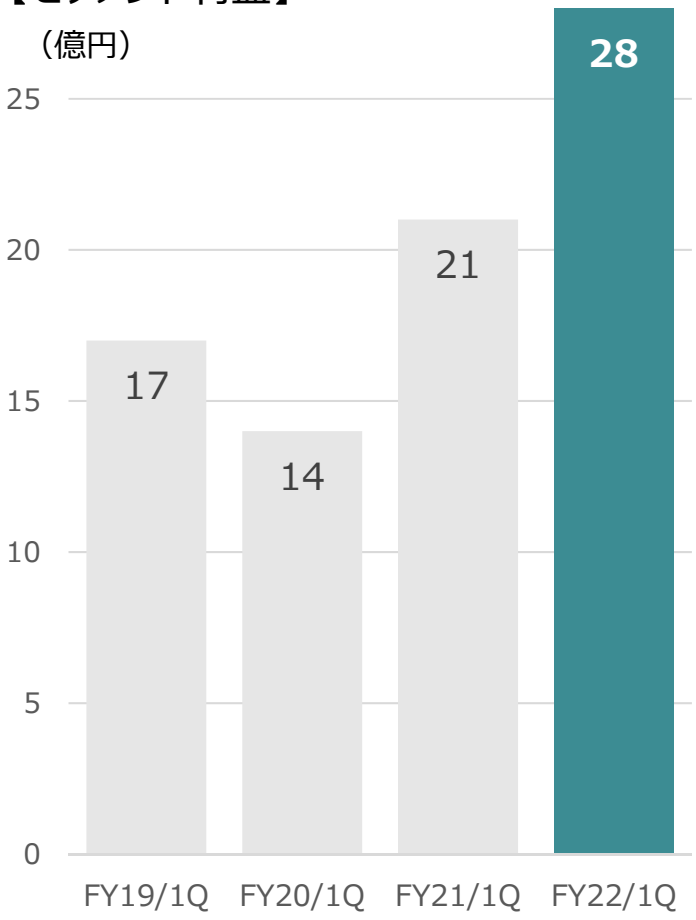
・封切本数　前期差	+20　本
・観客動員数　前期差	+210 万人
・営業利益　前期差	+10 億円

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

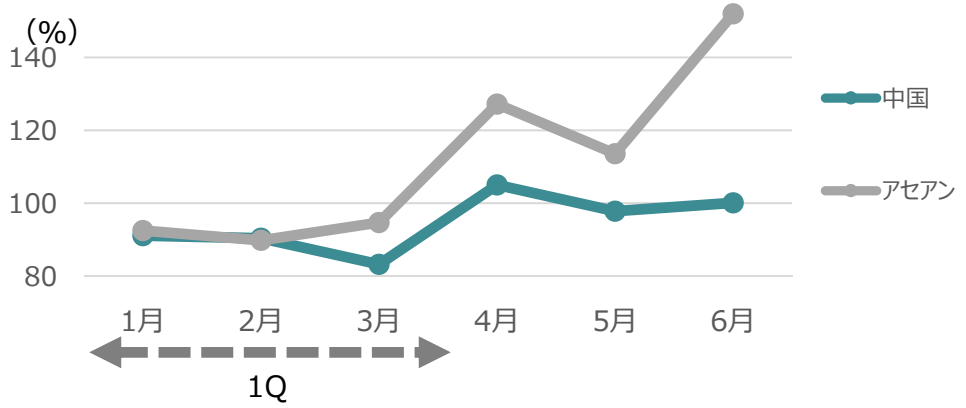
国際事業

中国：行動制限の影響で減益も、第２四半期の売上は回復基調
アセアン：イオンベトナムが増収増益し業績に貢献

【セグメント利益】



中国・アセアン各社※　既存店売上前期比



国際事業　エリア別前期差



イオンベトナム
営業利益前期差　　+6億円

・コロナ影響縮小による売上伸長
　既存店売上前期比　113%
・マルチジョブ・販促デジタル化等による経費の計画内運用
・既存GMS機能を活用したSM出店
　3店舗

※中国7社、アセアン4社計

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

商品戦略

・トップバリュベストプライスを中心に節約志向に対応。ナショナルブランドからのブランドスイッチ（＝値入率が高いPB売上構成比の拡大）で利益確保
・付加価値型トップバリュも売上伸長し利益貢献

いつもの定番商品以上の品質でいつでも安く買える

TOPVALU BESTPRICE トップバリュ ベストプライス

売上前期比 **108%**

新価値創造ブランド

TOPVALU トップバリュ

売上前期比 **102%**

オーガニック＆ナチュラル

TOPVALU グリーンアイ

売上前期比 **107%**

食品主要カテゴリー※の売上状況

		2022年3～5月
トップバリュ	売上高前期比	**124.0%**
	売上高構成比	**21.9%** 前期差+3.9pt
PB・NB合計値入率前期差		**+0.0pt**

開発テーマ別　売上前期比

プロテイン	**138%**
MSC/ASC認証水産品	**120%**
オーガニック	**118%**

※食用油、コーヒー関連、マヨネーズ/ドレッシング、パスタ、お好み焼/たこ焼、マーガリン、粉
（参考：トップバリュの企業努力とは）https://www.topvalu.net/brand/bestefforts/

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

業績予想

・期初予想に変更なし。第1四半期は概ね想定線での進捗

【2022年度　業績予想】

（億円）

	2019年度	2020年度	2021年度	**2022年度（予想）**	**前期比・差**
営業収益	86,042	86,039	87,159	**90,000** **92,000** 旧収益認識基準	**－** **(+5.6%)**
営業利益	2,155	1,505	1,743	**2,100** **～2,200**	**+356** **～456**
経常利益	2,058	1,388	1,670	**2,000** **～2,100**	**+329** **～+429**
親会社株主に帰属する当期純利益	268	-710	65	**250** **～300**	**+184** **～+234**

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.


AEON

2022年5月末　連結貸借対照表

（億円）

資産の部 （主要項目のみ）	2022/2	2022/5	前期末差
現預金	11,722	11,080	-642
受取手形・売掛金 (割賦売掛金含む)	16,550	18,171	+1,620
たな卸資産	5,551	5,810	+259
営業貸付金・銀行業 における貸出金	28,356	30,046	+1,690
有形固定資産	31,308	32,770	+1,461
投資その他資産	9,901	9,789	-111
資産合計 （金融子会社除く）	116,330 (57,267)	120,602 (60,053)	+4,272 (+2,786)

負債・純資産の部 （主要項目のみ）	2022/2	2022/5	前期末差
支払手形・買掛金	9,755	10,435	680
有利子負債 (金融子会社除く)	22,031	22,644	613
有利子負債 (金融子会社)	10,878	11,718	839
銀行業における預金	41,734	42,414	679
負債合計	98,206	101,374	3,167
株主資本	8,977	9,163	185
純資産合計 （金融子会社除く）	18,124 (14,148)	19,228 (15,144)	1,104 (995)
負債・純資産合計 （金融子会社除く）	116,330 (57,267)	120,602 (60,053)	+4,272 (+2,786)

参考資料1

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

配当予想

	2021年度	2022年度 (予想)
第２四半期末	普通配当　18円	普通配当　18円
期末	普通配当　18円	普通配当　18円
合計	普通配当　36円	普通配当　36円

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.

予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

- ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている　見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

- この資料の著作権はイオン株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

Copyright 2022 AEON CO., LTD. All Rights Reserved.